慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	現代日本の人的資源管理に関する実証的研究 : オーラルヒストリーの観点から
Sub Title	The study of human resources management in contemporary Japan : from the viewpoint of oral history
Author	八代, 充史(Yashiro, Atsushi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	本研究は, 1990年代以降主要産業で進行した外資の資本参加が, 日本企業の雇用や労使関係に与えたかを検討するものである。即ち資本構成の変化が企業統治の変化を通じて雇用を欧米的な物に変革させるのか, 或いは両者の関係は独立なのかを, 当事者の緒言から明らかにすることを目的としている。本研究では外資と資本提携を実施した企業の中で, 特に日産自動車を取り上げ, 当時の役員層, 経営企画室のスタッフ層の証言を聴取することをの研究の主な内容としている。 2017年度は, 2016年度に続き日産自動車とルノーとの資本提携に関与された方々の証言を聴取した。2016年度は, 資本提携交渉という「総論」がインタビュー項目の中心であったが, 今年度は下記「各論」を取り上げている。 2017.07.18. 高倉明氏 労使関係 村山工場閉鎖に伴う配置転換を中心に。 2017.11.27. 中村克己氏 技術・ 設計 プラットフォームの共有化を中心に。2018.01.15. 岩下世志氏 系列関係 日産陸送と㈱ゼロについて。 2018.02.06. 鈴木 裕氏 提携交渉 当時の潜在的な選択肢について。 2018年度は, これらインタビューの結果を中間報告書として取りまとめ, 合わせて補足のインタビューを行う予定である。 In 2017, we conducted interviews with relevant people on the alliance of Renault and Nissan. These are Mr. Akira Takakura, Mr. Katsumi Nakamura, Mr. Seishi Iwashita and Mr. Yutaka Suzuki. The theme of the interviews is how the capital injection from Renault to Nissan affected Nissan's Corporate Governance Human Resources Management. The Survey results will be published as a tentative report in 2018.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000002-20170332

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2017 年度　学事振興資金（共同研究）研究成果実績報告書

2018 年 4 月 9 日

研究代表者	所属	商学部	職名	教授	補助額	600　千円
	氏名	八代 充史	氏名（英語）	Atsushi　YASHIRO		

研究課題（日本語）

現代日本の人的資源管理に関する実証的研究：オーラルヒストリ―の観点から

研究課題（英訳）

The Study of Human Resources Management in Contemporary Japan: From the Viewpoint of Oral History

研究組織

氏　　名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position
八代充史（Atsushi　YASHIRO）	本塾商学部教授
牛島利明（Toshiaki　USHIJIMA）	本塾商学部教授
梅崎修（Osamu　UMEZAKI）	法政大学キャリアデザイン学部教授
島西智輝（Tomoki SHIMANISHI）	東洋大学経営学部准教授
南雲智映（Chiaki　NAGUMO）	東海学園大学経営学部准教授

１．研究成果実績の概要

本研究は、1990 年代以降主要産業で進行した外資の資本参加が、日本企業の雇用や労使関係に与えたかを検討するものである。即ち資本構成の変化が企業統治の変化を通じて雇用を欧米的な物に変革させるのか、或いは両者の関係は独立なのかを、当事者の緒言から明らかにすることを目的としている。本研究では外資と資本提携を実施した企業の中で、特に日産自動車を取り上げ、当時の役員層、経営企画室のスタッフ層の証言を聴取することをの研究の主な内容としている。
2017 年度は、2016 年度に続き日産自動車とルノーとの資本提携に関与された方々の証言を聴取した。2016 年度は、資本提携交渉という「総論」がインタビュー項目の中心であったが、今年度は下記「各論」を取り上げている。

2017.07.18.　高倉明氏　　労使関係　　村山工場閉鎖に伴う配置転換を中心に。
2017.11.27.　中村克己氏　技術・設計　プラットフォームの共有化を中心に。2018.01.15. 岩下世志氏　系列関係　　日産陸送と㈱ゼロについて。
2018.02.06.　鈴木　裕氏 提携交渉　　当時の潜在的な選択肢について。

2018 年度は、これらインタビューの結果を中間報告書として取りまとめ、合わせて補足のインタビューを行う予定である。

２．研究成果実績の概要（英訳）

In 2017, we conducted interviews with relevant people on the alliance of Renault and Nissan.
These are Mr. Akira Takakura, Mr. Katsumi Nakamura, Mr. Seishi Iwashita and Mr. Yutaka Suzuki. The theme of the interviews is how the capital injection from Renault to Nissan affected Nissan's Corporate Governance Human Resources Management. The Survey results will be published as a tentative report in 2018.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）